学科 学年 E3 科目 分類	させ、
英語が国際補助言語として、その位置を益々明確にしている現状を正しく理解 認識を深化させる。異文化間の最も大きな意志伝達手段であることに基礎を置い 日常の講義と演習を充実させていく。世界にまたがる諸問題にも言及し、あわせ	させ、
概 要 認識を深化させる。異文化間の最も大きな意志伝達手段であることに基礎を置い 日常の講義と演習を充実させていく。世界にまたがる諸問題にも言及し、あわせ	て、
語運用能力の向上と発展に努めさせる。 	
科目目標 (到達目標) 既習の総合英語、英語W、英語Cの統合的完成を目標とする。教材は、科学的分 (到達目標) 多いものを利用するが、英作文を加味しつつ、英文構造の定着と応用理解を計る	·野が 。
教科書 器材等 "VOA Junior Science"(南雲堂) 他にプリント。	
評価の基準と 方法 定期試験80%、授業への演習参加、課題レポート20%。60点以上を合格とする。	
関連科目 総合英語、英語C、英語W、その他全般	
授業計画	
第 1回 Hydroponics in Japan 第 2回 Waste Recycling 第 3回 El Nino 第 4回 Potassium and Strokes 第 5回 Autumn Colors 第 6回 AIDS 第 7回 Honeybees 第 8回 定期試験 第 9回 The Moon's Influence 第 10回 Hypnosis 第 11回 Sleep 第 12回 応用英作文 1 第 13回 応用英作文 2 第 14回 応用英作文 3 第 15回 定期試験 第 16回 Threats to the Environment 第 17回 Dinosaur Disappearance	
第17回 Dinosaur Disappearance 第18回 Artists and Sickness 第19回 Hiccups 第20回 Water and Health 第21回 Life Expectancy Limits 第22回 Dyslexia	
第23回 定期試験 第24回 CPR 第25回 Age and Memory 第26回 Dental Care Advances	
第27回 応用英作文 4 第28回 応用英作文 5	
第29回 応用英作文 6 第30回 定期試験	
オフィス アワー 前もって連絡があれば、曜日と時間の対応ができる。	
備考	